

# 運営推進会議及び 介護・医療連携推進会議 議事録

日 時：令和7年12月8日(月) 13:30~14:30

場 所：福の神 1階 地域開放室

参加者：  
 ○大町町長\_今井様 ●運営推進会議副委員長\_上野様 ○四柳町会長\_藤田様 ●金丸出町民生委員\_太田様  
 ※白○は欠席  
 ●ご家族様\_森様 ●地域識者\_川口様 ○地域識者\_三門様  
 ●地域包括支援センター\_島様 ●中能登町役場保健師\_森口様 ●中能登町長寿福祉課主幹\_宿谷様 ○前川医院\_前川様 ○藤田医院\_藤田様  
 ●訪問看護ステーションあわら\_小堀様 ●介護センターほのぼの\_池田様 ○らいず訪問看護ステーション\_石田様  
 ●弘和会理事長\_松本 ○羽咋事業部部長\_森川 ●TH・GH・CN福の神管理者\_北出 ●ライフサポート村友管理者\_川端 ●コールナウ福の神\_堀下 ●事務\_古永

議事録作成:古永

以上 14名

## 報 告 :

## ① 利用者登録状況報告

ぐるーぶほーむ福の神 介護区分別利用者状況

	R7.10月	R7.11月	区分	人数	割合
計画	0	0	要支援2	0	0.0%
累計計画	18	18	要介護1	4	22.2%
実績	0	0	要介護2	6	33.3%
累計実績	18	18	要介護3	4	22.2%
契約解除	0	0	要介護4	2	11.1%
予約者	25	24	要介護5	2	11.1%
進捗率	100.0%	100.0%	合計	18	100.0%

## 共用デイ福の神 介護区分別利用者状況

	R7.10月	R7.11月	区分	人数	割合
計画(延人数)	66		要支援1	1	50.0%
実績	38		要支援2	2	40.0%
計画(人)	1		要介護1	2	40.0%
累計計画	28		要介護2	0	0.0%
登録累計(人)	5		要介護3	0	0.0%
新規	1		要介護4	0	0.0%
契約解除	0		要介護5	0	0.0%
			合計	5	100.0%

## たきの一ほーむ福の神 介護区分別利用者状況

	R7.10月	R7.11月	区分	人数	割合	要介護度別実績報告					
						通い	訪問	宿泊	通い	訪問	宿泊
計画	0	0	要支援1	0	0.0%	要支援1	0	0	0	0	0
累計計画	29	29	要支援2	0	0.0%	要支援2	0	0	0	0	0
実績	0	1	要介護1	12	42.9%	要介護1	138	607	35	161	500
累計実績	28	28	要介護2	9	32.1%	要介護2	154	418	62	145	442
契約解除	1	0	要介護3	4	14.3%	要介護3	66	82	31	63	145
予約者	2	1	要介護4	3	10.7%	要介護4	70	21	55	44	26
進捗率	100.0%	96.6%	要介護5	0	0.0%	要介護5	0	6	0	0	0
			その他更新中	0	0.0%	合計	428	1134	183	413	1113
			合計	28	100.0%	一日平均	13.8	36.6	5.9	13.8	37.1

## コールナウ福の神 介護区分別利用者状況

	R7.10月	R7.11月	区分	人数	割合
計画	2	2	要支援1	0	0.0%
累計計画	25	25	要支援2	0	0.0%
実績	0	2	要介護1	9	52.9%
累計実績	15	17	要介護2	3	17.6%
契約解除	1	0	要介護3	4	23.5%
予約者	0	0	要介護4	0	0.0%
進捗率	60.0%	68.0%	要介護5	1	5.9%
			その他更新中	0	0.0%
			合計	17	100.0%

## ボランティア受け入れ状況

	人数	延べ人数
R07.4	1	1
R07.5	2	2
R07.6	2	4
R07.7	3	6
R07.8	4	4
R07.9	2	2
R07.10	1	1
R07.11	2	2

## ・コールナウ福の神 報告

事例を1件報告させていただきました。がんを患っており、残されたわずかな時間は、ご本人の『先に亡くなったご主人がいる自宅に帰りたい』という思いのもと、退院後は自宅に帰られコールナウの利用が始まりました。娘さん達の希望により、ご本人には余命を伝えないという方針で支援させて頂きました。帰宅後は、毎日ご近所の方や親戚の方が会いに来られ、とても賑やかでした。

徐々に体力も低下し、ご本人も病状の変化を感じておられる頃、大阪に住んでいた娘さんとお孫さんが泊まり込みで献身的に介護されたこともあり、薬で痛みが軽減したこと、娘さんやお孫さん達と過ごす毎日が楽しかったおかげか、うそのようにどんどん元気になられました。

当初は、自宅で最期を迎えるといつご本人の希望でしたが、最終的には娘さんやお孫さんの暮らす大阪で最期を過ごすことを選ばれました。看取りと言えは自宅で、と思っていましたが、『誰と過ごしたいか』を優先することも重要だと改めて感じました。様々なサービスや地域、家族の協力があれば不可能なことはないと思います。

## ⑤日々の活動報告ダイジェスト



おぐら座にて

紅葉を見に

干し柿作り

余喜地区防災訓練

ご夫婦です